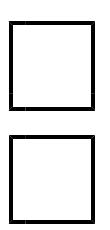
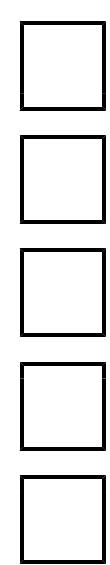


鶴口牛後

第1章「戦国の七雄」を記せ。

() の国の人は () を恐喝して、各国の() を奪い取ろうとした。



この中に一番大きな国は ()

第2章「鶴口牛後」に出てくる国は七つのうちどれか。



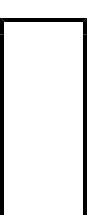
第3章登場人物を記せ。

「遊説」のよみ…… ()

第9章(3)問ハの結果どうなったか?



第10章(4)次に蘇秦はどの国に行つたか。



第11章(4)口語訳しなさい。

そして旅をして()の国()のとじりで自説を話して、()の国と()。

第12章(5)誰が誰をどこに行かせたのか?

()が()を()の国に行かせた。

第13章(5)「資」の意味を記しなさい。
 ()

第6章(1)を口語訳しなさい。



第14章(5)「資之」を口語訳しなさい。

()は()に資 を与えて
()に行か()。

第15章(6)何が何の十倍なのか?

の合計が の十倍

第16章(7)口語訳しなさい。

()が力を合わせて西(=)でしょう。

第17章(8)「大王」とは誰のことか?
第18章(8)「莫若」について、

読み方を記せ

莫若A……Aに及ぶものはない。
= Aが一番()。

第19章(8)を口語訳しなさい。

あなた(大王)のために考へると、六カ国が()

()を結んで、そつして()を

()方法が一番()。

第20章(9)口語訳しなさい。

()の國の肅侯がそこで()に

()を立てて、諸侯と()を結

ばせた。

第21章(10)「寧A、無B」について。

してはいけないのはどちらか?(A・B)

「鶴口」と「牛後」のどちらになつてはいけないと言つているのか?(鶴口・牛後)

第22章(10)「鶴口」「牛後」はそれぞれ比喩である。それぞれ何を指しているか?

「鶴口」……()
「牛後」……()

つまり、戦国時代の国で具体的に示すと、

「牛」……()となる。

「鶴」……()

第23章(11)口語訳を記せ。

第24章「従親(合従)」と「連衡」を簡単にまとめなさい。

従親(合従)	連衡
誰が進めた?	誰が進めた?
どこの國の同盟?	どこの國の同盟?

何のための同盟?	何のための同盟?
どこの國の同盟?	どこの國の同盟?

何のための同盟?	何のための同盟?
どこの國の同盟?	どこの國の同盟?

第25章結局秦はどうなった?

滅亡した・中国を統一した